

ガザ地区からのイスラエル軍撤退など速やかな平和的解決を求める決議

令和5年10月7日のハマスによる大規模攻撃および拉致による人質事件に端を発したイスラエル軍の武力による報復は現在も継続している。この武力衝突により、イスラエル・パレスチナ双方の一般市民は深刻な危機的状況に晒されており、特にパレスチナ自治区ガザ地区では3万4千人以上の死者が出ており、そのうち1万人以上の子供の命が奪われる悲惨な状態となっている。

このような事態は、あらゆる国際法を逸脱したものであり、令和5年11月15日には国連安全保障理事会は、緊急会合を開催し、パレスチナ自治区ガザでの「緊急かつ延長された人道的戦闘の一時休止」と「人質の即時解放」を求める決議を採択しました。また、令和6年6月10日には国連安全保障理事会の緊急会議で米国主導の「ガザ3段階停戦案」を支持する内容の決議が採択された。

高砂市議会は一刻も早い事態の終息と恒常的な平和を実現することを強く求める。また政府におかれては、関係各国および国際社会との緊密な連携のもと、早期の停戦および恒久的な平和に向けた適切な外交努力を積極的に講じられるよう、強く求める。

以上、決議する。

2024年（令和6年）6月18日

高 砂 市 議 会